

教育委員会だより

平成26年 1月～ 4月号

発行者

池田町・養基組合教育委員会

池田町六之井1468-1

☎ 0585-45-3111 Fax 0585-45-7116

E-mail yakuba@town.gifu-ikeda.lg.jp

平成26年度の重点事業について

今年度のスタートにあたり、教育委員会として今年度特に重点的に取り組んでいく事業をお知らせします。

〈学校教育〉

- 福祉教育及び外国語活動・教育（コミュニケーション能力の育成）の中小一貫教育の推進
- 8/2（土）事例発表会の予定
- 通常学級における特別支援教育支援員の増員による学級経営の充実
- 学力問題、いじめ問題、不登校問題、教育相談、食物アレルギーへの対応、危機管理等、問題解決のための町教育センターの活性化（主幹の配置）

〈社会教育〉

- 青少年健全育成のために学校、家庭、地域社会の連携強化
- （町民大会における各団体の事例発表）家庭の教育力向上のための家庭教育学級の充実（学校、園を事務局にしてPTA、保護者会との連携強化）

〈社会体育〉

- シュニアスポーツクラブの適正な運営
- 役員・指導者・学校の連絡会の確実な実施による連携強化

教育長 長谷川 貴志

揖斐郡教育委員会合同研修会に参加して

この研修会は郡下三町の教育委員会連絡協議会の主催で毎年開催しています。今回の研修会には、委員18名が参加し、八幡小学校を会場として2月17日に行われました。

研修目的は各委員の資質向上と、それぞれの教育委員会の活動や動向についての情報交換等にありま

す。今回の研修内容を紹介しますと、はじめに各教育委員会の活動状況報告を池田町の長谷川教育長、揖斐川町の野原教育長、大野町の藤本教育長より受けて質疑討論を行いました。続いて開催地である八幡小学校の牧村校長より学校経営方針である①教育目標 ②目指す子どもの姿 ③学校教育の重点についての話を伺いました。又、新築なった校舎の設計や特色などについて、長濱係長から説明を受けました。

その後、授業参観を行い、会議室に戻って意見交換や質疑をし、最後に今日の研修会の反省をして終了しました。

私見ですが、池田町の教育委員会活動報告にあつては、「教育委員会の活性化を目指して」というテーマに沿って①学校理解を深める ②承認型から提案型の教育委員会へ ③町民への広報活動という項目について長谷川教育長から話があり、委員各自の意識向上と使命の再確認ができ、充実した研修会でありました。

池田町 教育委員長 野原 正



宮地小学校 新一年生 学級びらき

子どもが主体的に学習する授業づくり

養基小学校公表会（平成26年1月31日）に養基組合教育委員として出席しました。生活科と社会科の公開授業を参観し、また、全体会と分科会にも参加し、子どもたちが主体的に学習する授業とはどうあるべきかをみせていただきました。

- ① 子どもたちの興味や関心を引き出す魅力のある導入が出来る授業の工夫をする。
- ② 個人追求しやすい素材や資料を提示する。
- ③ 地域素材を教材化し、子どもたちにつけさせたい力を明確にする。

右記の事をポイントとして授業が進められました。特に、養基小学校の先生方が知恵と手間暇をかけて③の地域素材を教材化されたことには感心させられました。先生方が苦労して作られた教材が功を奏し、子どもたちの主体的に取り組む姿が随所に観られました。

養基組合 教育委員長 窪田 昇

八幡ふれあい教育

池田町最南端に位置する八幡地区には、今年で24年目をむかえる「八幡ふれあい教育」という地域活動があります。もともとは、地域の子どもの向けた道徳教育の一環であり、「あいさつ・花づくり・清掃」を三本柱としてスタートしたのですが、その活動の幅は徐々に広がり、現在では子ども会を軸に、区会・老人会・福祉会・民生児童委員・青少年育成委員・小学校・中学生徒会など様々な団体の関係者が一同に集い、話し合い、交流しあう貴重な場所になりました。

毎年春に、それぞれの年間計画を持ち寄って「八幡ふれあい教育推進会議」を開き、年度末にはその活動成果や課題をまとめて、2月の八幡公民館文化祭において、パネルディスカッション形式で発表・交流をするというのが1年の流れです。この活動の最大の特徴は「ヨコのつながり」（組織間の橋渡し）から生まれる「タテのつながり」（世代間交流）だといえるでしょう。

例えば「花壇作り」。保護者世代が中心の子ども会と、高齢者の老人会では、考え方や活動時間帯が異なるため、各々がバラバラに計画をしても接点は生まれません。しかし「八幡ふれあい教育推進会議」を利用し一緒に話し合うことで、段取りや手ほどきは高齢者、力仕事は保護者、大量の軽作業はたくさんの子どもたち、という役割分担が可能になり、別々にやるよりも大きな花壇を作る事もできる上、必然的に世代間の交流も生まれてくるのです。

こうして世代間交流の基礎が出来つつある中、昨年度からは、地域全体で子どもたちがより主体的に考え、動ける活動を意識するようになり、た。年に2回の会議と1回の発表交流会です。派手で大きな飛躍こそありませんが、着実な一歩が地域の力になっていく、それが「八幡ふれあい教育」の持ち味だと思います。

池田町 教育委員 野網 国昭

子ども議会

小学校の社会科の授業で、子どもたちは社会のしくみについて学びます。身近な例を通して人々の願いを叶え、暮らしをよくするために、行政に考えを反映させることが大切であることを学びます。

その一連の教育活動の中に「子ども議会」があります。各小学校の6年生と中学2年生の10人の子どもの議員が一般質問をし、町職員が答弁しました。子どもは、傍聴する他の子どもたちにも勉強になりました。姿は、傍聴する他の子どもたちにも勉強になりました。町職員は、議員の皆さんにはわかりやすく丁寧にご答弁いただき、議会のしくみを知ることができました。観光についての質問では、池田山麓の花街道計画を知りました。将来を担ってゆく子どもたちがより深く郷土を愛し、誇りを持つ機会になりました。また安心して安全な町づくりがこのようにして実現してゆくことがわかったのは、大変有意義でした。

池田町 教育委員 国枝 磨須美

学校教職員離任式、着任式

池田町でご活躍いただいた52名の先生方の離任式が3月28日に役場で行われ、池田小学校の坪井校長先生より、大変に思いのこもった謝辞をいただきました。



学校異動教職員 離任式 (3月28日)

4月1日には新たに池田町へ着任された49名の先生方の着任式があり、全員の方から抱負を述べていただきました。その後、養基小学校の柏木校長先生が宣誓書の朗読、池田小学校の松栄校長先生の講話を行いました。池田町教育委員会 課長 野原 祐治

池田町 教育委員会 課長 野原 祐治

教育委員就任にあたり

養基組合教育委員を4月1日付で拝命し、身の引き締まる思いでいきたいと思います。



養基組合教育委員 駒月 清

本年度より教育委員としてお世話になりますので、よろしく願っています。



養基組合教育委員 五十川 博一

教育委員会事務局主幹就任にあたり
学校教育課教育センター主幹として、4月1日付で着任いたしました。



池田町教育委員会主幹 坪井 一弘

教育センターの各委員会への支援・アドバイス、町内小中学校の訪問等、小中学校の児童生徒の「生きる力」の育成を期して、微力ながら努めさせていただきます。よろしく願っています。

教育委員会の主な活動 1月から4月

日付	活動	備考
1月12日	池田町成人式 臨時教育委員会	池田町中央公民館 教育委員会事務局
1月24日	池田町・養基組合合同教育委員会 教育懇談会	役場第3会議室
1月26~29日	小学校フリー参観、給食感謝週間	小学校 5校
1月30日	池田中学フリー参観、給食感謝週間	池田中学校
2月 6日	池田町教育委員会	役場第3会議室
2月17日	揖斐郡教育委員会連絡協議会	八幡小学校
2月21日	子ども議会	中央公民館大ホール
2月25日	池田町教育委員会協議会	教育センター
3月 7日	池田中学校 卒業式 池田町・養基組合合同教育委員会	池田中学校役場第3 会議室
3月10日	八幡小学校 校舎竣工式	八幡小学校
3月19日	池田町教育委員会協議会	役場第3会議室
3月25日	小学校卒業式	小学校5校
3月28日	学校異動教職員 離任式	役場3A会議室
4月 1日	教育委員会 功労者表彰式 学校異動教職員 着任式	役場3A会議室
4月 7日	小学校・中学校 入学式	小学校・中学校6校
4月 8日	池田町・養基組合合同教育委員会	役場第3会議室

お知らせ

3月31日付をもち、養基組合教育委員 久保田 隆志、山本 直人が退任し、後任に 駒月 清、五十川 博一 が就任いたしました。また、養基組合事務局長は 久保田 昌美に代わり 林 一彦 が就任しました。新たに教育委員会事務局主幹として 坪井 一弘 (前池田小学校校長) が着任しました。教育委員会事務局といたしましては、着任しました教育委員、事務局主幹ともども、教育行政に一層努めていきますので、よろしく願っています。

編集後記

26年度になり、第4号の「教育委員会だより」を発行することができました。なるべく沢山の事をお伝えしたいのですが、紙面の制約があります。また、読みやすさも紙面作りの重要な要素と考えます。お手元に届いたときに、読んでみようという気持ちになっていただけるような「教育委員会だより」を発行できるよう、試行錯誤しながら努めていきたいと考えています。

どうぞ、よろしく願っています。

編集担当 小川 直美、国枝 磨須美